# うさぎだより

2022年 5月号
うさぎ文庫

# 5月

今だけなんだよね。
ちまき食べれるの!!
くるくるまどべとときがわくわくします!

新緑の5月になりました。ゴールデンウィークはどのように過ごされましたか。コロナ禍にまだ不安は続いていますが、なんと3年ぶりに緊急事態宣言のないゴールデンウィークということで、これまでじっとガマンしていたみなさんが一気に飛び出した!!という感じですね。しずやかな行楽地のニュースが毎日流れていましたね。

文庫のみなさんのお休みはいかがでしたか。公園に行ったり、旅に出たり、おじいちゃんおばあちゃんのところにも行けたかな。

4月から1ケ月。幼稚園や小学校で新しい環境の中頑張してきていたでしょうから、この長いお休みでちょっぴりホッと心も安らいだかな。さあ、これからは夏に向けて、たくわえたエネルギーで元気で過ごしていきましょう!!

青々とした空、吹き抜ける風、大好きだよ五月!!

## 母の日に寄せて

皆さんは河東けいさんを覚えていますか。2016年12月と2019年5月に うさぎ文庫のスペシャルゲストとしてお招きした女優さんです。1925年11月生まれ、今年97才です。

このゴールデンウィーク中の5月4日、尼崎にあるピッコロシアターで ひとり語り「母」の舞台を上演されました。

この「母」の原作は 政:三浦綾子さんです。『塩工船』の作家、小林善二の母、小林セキさんを主人公に描かれた作品です。小林善の姿や善二の人生を淡々と語る河東けいさんは、まるで小林セキが乗り移ったかのようでした。

今は高齢ということもあり、車椅子での上演でしたが、しっかりとした滑舌、強弱のある声で胸を打つ舞台でした。いのちの尊厳をあらためて考えるとともに、生涯女優として生きていく善として生の姿の河東けいさんでした。

けいさんは舞台「ヘレンケラー」の作品ではサリバン先生役で650回も舞台に立ち、数々のドラマや舞台、映画で活躍されています。多くの女優人生を経て、今ではこの「母」のひとり語りがライフワークとまでおっしゃっています。

私事ですが、実家の母は12年前に亡くなりましたが、生きていれば河東けいさんと同い年です。交通事故に遭ってしまった後の3年間は脳の損傷で認知症になり、すぐに私の名前もわからなくなってしまいましたが、母は私と弟が小さい時から寝る前にいろいろな物語を語ってくれていました。絵本の数は少なかったのですが、昔の昔話やアンデルセンの物語や創作したおはなしを寝物語に語ってくれていました。

今、私が自宅で うさぎ文庫を続けているのは、その頃の幸せな時間をいつか、今来ている子どもたちに思い出してほしいからなのかもしれません。

河東けいさんの語りを聞きながら母の姿が重なりました。

今月は母の日があります。年に1回だけの特別な日ではなくて、自分が母になったからこそ母を思いやる日が日々の中にあります。

## <本の紹介>

「女は格好よくええもんと違います」 井上由紀子/著 "生涯女優"河東けいを出版する会/編
上記の河東けいさんの人生の歩みを描いた一冊です。

「ノンタンピクニックららら」 キヨノサチコ/原案・絵、福成ネネ/作
さわやかな季節になりました。ノンタンシリーズのピクニックの絵本です。ウキウキわくわく楽しいピクニック みんなで出発!! おいしいものいっぱい!

「ねずみくんのピッピッピクニック」 なかえよしを/作 上野紀子/絵
おべんとうを持ってみんなでピクニック。どこで食べるとおいしいかな?
今までのねずみくんシリーズとはちょっと違うよ。みつけてネ!!

ご注意
6月の文庫は第2.4金曜です。
ヨロシクね♡

6月の開室日…10・24日(金)

うさぎだよりは「コープともしびボランティア振興財団」の助成を受けて印刷しています。

ホームページ アドレス usagi-bunko.com
うさぎ文庫の電話番号 924-7234(藤川自宅 FAX共)